

# 2013年度（移行後）事業報告書

至 2013年11月28日～2014年3月31日

## (1) 聴覚障害者の生活問題に関する相談及び指導事業

### イ、相談事業（公益1）

自立支援センターにおいて、専門家による相談事業を行った。

定期（月1回）・・・法律相談、生活相談

予約・・・建築相談、税理相談など

※相談実績は別表（1）参照

東京都聴覚障害者連盟からは毎週土曜日の午後（第5土曜は休み）東京都障害者福祉会館の相談員（ろう者担当）も推薦し、以下の通りに女性、高齢、スポーツ、ろう運動などの相談がしやすいよう担当を配置した。

第1土曜 曾輪信明（ろう運動、高齢）

第2土曜 越智大輔（ろう運動、福祉、教育）

第3土曜 栗野達人（ろう運動、スポーツ）

第4土曜 浦城直子（ろう運動、女性、青年、教育労働）

その他、月1回、就労継続支援事業B型施設「かがやき夢工場」の通所者相談事業に相談員を派遣。

### ロ、相談支援ネットワーク事業（公益1）

東京都内在住の聴覚障害と家族を対象に、自立支援センターを窓口支援センター、金町学園、トット文化館、情報文化センター合同で、センターと契約を結んだ地域（荒川区）へのケース支援を行った（次項参照）

### ハ、地域相談支援事業（公益1）

荒川区で ケース対応した。

年間実績数・・・2件

### ニ、スクールソーシャルワーク（公益1）

立川ろう学校では年5回、葛飾ろう学校では随時、自立活動授業補助と合わせて、ケース対応を行った。

年間実績数25件

### ホ、会長会議（その他）

年3回の会長会議を開催し、地域協会と連盟理事会の意思統一を行い、会員拡大や連盟改革について話し合った。

会長会議③

実施日1月26日（日） 会場渋谷区地域交流センター新橋

手話研修センター後援会の呼びかけ、2014年度当連盟の指針、専門部からの報告、区市協会情報交換

参加者54名

## へ、職業委託訓練事業（公益1）

東京しごと財団からの委託事業。

求職中の聴覚障害者に対するパソコンや企業マナーの習得を目的とした訓練で、年3回3か月をワンクールとしての実施。

4月開講 6名受講（修了5名）

8月開講 4名受講（修了2名）

12月開講 4名受講（修了4名）

年間実績数 14名（修了11名）

## ト、聴覚障害者対象ジョブコーチ事業（公益1）

東京ジョブコーチ職場定着支援事業に登録している、聴覚障害者とコミュニケーションのできるジョブコーチがセンターに聴覚障害者当事者1名、手話通訳士3名在籍しており、聴覚障害者を雇用した企業や聴覚障害者自身からの申し込みを受けて、職場環境整備の支援を実施。

年間実績数…373件

## チ、ろう高齢者昼食交流会（デイサービス）事業（公益2）

東京ろうあヘルパー連絡会と共催で、毎月第三月曜日に原則として自立支援センターで実施。

実施内容および参加者数は別表（2）参照

## （2）聴覚障害者の福祉・手話等に関する研究調査事業

### イ、手話の研究と指導（公益2）

手話研究者、手話通訳者、手話講習会運営者、福祉関係者等、各分野で活躍中の専門家にて構成された委員会で、都内の手話に関する諸問題の解決のための研究及び指導をうために、年間8回の委員会を開催し、手話関係事業に講師や助言者を派遣した。

### ロ、社会資源調査（その他）

東京都福祉保健局障害者施策推進部自立生活支援データを基にして資料の収集などの以下の調査を行なった。

- ・身体障害者相談員の状況
- ・障害者自立支援協議会の状況について
- ・ヘルプカードの状況について

※資料及びデータは東京都聴覚障害者連盟年次報告書「参考資料」に掲載  
2014年度中に行政に対してさらに調査（詳細化）を実施する予定。

### ハ、課題対策会議（その他）

各部におけるそれぞれの課題を整理し、連盟役員や各区市協会会長がそれらの状況を把握し、意見交換および学習をするための総合的な会議として年2回開催した。

課題対策会議②

実施日 2013年11月30日（土）午前9時30分～17時00分

会場 稲城市立iプラザ

出席数 60名

内容

開会・全体会〈趣旨説明〉

10時～12時 福祉対策部企画 参加数39名

講演テーマ「障害者差別解消法とはなにか」

講師：小出 真一郎 氏

(一財)全日本ろうあ連盟 福祉・労働委員会 副委員長

13時～13時30分 教育労働対策部企画 参加数 52名

報告テーマ「都立ろう学校の状況と今後の展望」

報告者 宮本 一郎 (当連盟理事長)

都立ろう学校(中央、葛飾、立川)運営連絡協議会 委員

13時30分～14時30分 災害対策部企画 参加数 53名

DVD上映「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」

東京都と交渉状況報告

15時～16時30分 手話対策担当企画 参加数 42名

講演テーマ：「意思疏通支援事業の広域派遣について」

講師：高岡 正氏 (東京手話通訳等派遣センター事務所長・聴覚障害者制度改革推進中央本部副部長)

16時30分～17時 各報告、お知らせ、閉会

第1回課題対策会議は分科会形式だったが、知識を深める為に、去年と同様、全体セミナー形式で4つの内容で進めた。関心のある内容だったと大好評だった。

### (3) 聴覚障害者の文化教養・教育向上に関する事業

#### イ、聴覚障害者教養講座(その他)

都内在住、在勤の聴覚障害者を対象に日常生活の様々な知識を学ぶため、東京都教育委員会主催事業に協力して実施。

夜の部(青年部担当)と昼の部(高齢部担当)に分けて実施し、女性教室の内容も組み入れた。

詳細は別表(3)の通り。

#### ロ、聴覚障害者文章教室(都教育委員会委託：公益2)

東京都教育委員会よりの委託事業。

都内在住・在勤の聴覚障害者を対象に日常的な国語力、文章力を身につけることを目的として行った。夜の部を5月～9月、昼の部を9月～翌年1月に分けて通年開催した。

詳細は別表(4)及び別表(5)の通り。

#### ハ、聴覚障害者パソコン講座(公益2)

(一財)機械産業記念事業財団及び日本聴覚障害者コンピュータ協会の協力を得て実施していたが、協力団体の事情で年度途中廃止のため2013年11月28日以後は実施せず。

#### 二、文化講座(その他)

都内の聴覚障害者を対象に日常生活に関する文化的な内容と知識を学び、地域の文化向上を図るため実施した。

実施日 2014年2月8日(土)

会場 小金井市萌え木ホール

参加者 24名（申込者35名）  
講座テーマ 「スカイツリーを100倍楽しむ方法」  
「Facebookの上手な使い方」

#### ホ、広報（会報）部担当者会議（その他）

加盟各区市協会の広報担当者を対象に、情報交換を中心に開催し、資質向上をはかるため実施した。

実施日 2014年3月16日（日）

会場 渋谷区リフレッシュ氷川

参加者 6名

講師 大杉 豊 氏

テーマ 「魅力ある新聞作り」

各区市の機関紙、会報の内容について情報交換も行い、お互いに知識を高めあった。

#### ヘ、ろう教育&就労セミナー（公益2）

葛飾ろう学校ワークショップとして実施した。

実施日 2014年2月19日（水）

場所 東京都立葛飾ろう学校

協力者 3名（青年部2名、青年部OB1名）

内容 ・高1、高2、の自立活動授業にてワークショップ  
・高3の授業見学及び交流

#### ト、第18回ろう教育フォーラムin東京（公益2）

実施日 2014年2月1日（土） 13時～16時55分

場所 日本大学文理学部キャンパス

参加者 180名

内容 ・模擬授業&トーク  
早瀬道場塾長 早瀬憲太郎氏  
「聞こえない子どもにとって分かりやすい授業とは？」  
・パネルディスカッション  
テーマ「グローバルな視点から考えるこれからのろう教育」  
元都立中央ろう学校校長 鈴木茂樹氏  
早瀬道場塾長 早瀬憲太郎氏  
元大塚ろう学校PTA会長 金子厚氏  
東京都聴覚障害者連盟事務局長 越智大輔氏

予想をはるかに上回る参加者があり、本年8月に東京で開催される第26回ろう教育全国討論集会の良い布石となった。

#### チ、高齢部新年会（その他）

新年会・会員と共に祝い、親睦を深め共に1年間の健康を誓う集い。

実施日 2014年1月20日（月） 会場 東京都障害者福祉会館

参加者 104名

新年会は参加者が100名を突破、会場が狭くなりつつある。高齢者が会話を求めて集まる場の提供こそが高齢部の務め。最近非会員の参加が増えて来た。会員入会を勧めており、反応があるが入会手続きが不便との意見がある。

課題は料理。病気持ちの高齢者は多く、内容と食中毒等に気を付けなければならない。参加者のニーズに応える工夫が必要。

## リ、女性部新年会（その他）

実施日 2014年1月13日（祝・月）

会場 渋谷区リフレッシュ氷川

参加者 99名

公益社団法人となったあと、女性部としては初めての行事。連盟理事長は会長になり、栗野副会長が会長代理であいさつ。

昨年まで行っていた部長会議は今回中止となり、全国ろうあ女性集会（愛媛県）の分科会報告を新年会の前に実施した。

みんなが楽しみにしている女性部の寸劇。昨年度に続き、クイズの他に、グループ毎に見事な劇を披露した。タイトルは「健聴者とうろう者の違い！」みなさんの芸達者ぶりには魅せられた。

## ヌ、青年部講演会&学習会（その他）

学習会 ②社会見学ツアー

場所 埼玉県

実施日 2014年2月8日（土）

参加者 5名

内容 メーカーの工場見学や観光を兼ねて、手話通訳付きガイドを楽しみながら、地元の歴史を学んだ。

ルート：新宿駅～聖神社～秩父神社～秩父菓子処・栗助～おっきりこみの昼食～農園でイチゴ狩り～満願の湯

成果及び課題

大雪注意報が出た中、ぎりぎりまでツアー実施できるか分からない状態だったが、なんとか実施できた。

今回、ガイドの説明も知りたいということで手話通訳を付け、バス旅行における方法など、手話通訳や情報保障に関する知識や意識を深めることができた。

## （４）聴覚障害者の保健体育振興事業

### イ、第8回東京都聴覚障害者フットサル大会（公益2）

実施日 12月15日

会場 川崎市 参加者 40名

全員が無理なく競技できるように、6チームに分けて各5分の交流試合を行った。後半にチームの組み替えも行い、参加者は十分競技を楽しめた。

### ロ、スポーツ講座（公益2）

スポーツ科学を学び、更に知識を深める企画として講演会を実施する予定だったが、部員対象の意見交換会として開催した。

実施日 2014年3月14日（金）

会場 東京聴覚障害者自立支援センター 参加者 15名

### ハ、第4回東京都聴覚障害者ソフトバレー大会（公益2）

実施日 2014年2月22日（土）

会場 町田市 参加者 6名（1チーム）

会場の都合で、東京都ソフトバレー連盟主催の大会に参加し、入門教室や交流試

合を行った。

## 二、第37回東京都聴覚障害者卓球大会（公益2）

卓球を通して、健康増進を図り、卓球をする楽しさを追求するため実施。

実施日 2014年3月9日（日）

会場 都立葛飾ろう学校 参加者 30名

会場の都合で2度延期し、やっと開催。卓球部員やろう学校の学生との交流試合を楽しめた。

## ホ、スポーツ祭東京2013情報支援（その他・東京都事業）

毎年開催される「国民体育大会」および「第13回全国障害者スポーツ大会」が東京で開催されるにあたり、情報支援ボランティアを募り、大会期間中の情報保障を通じて聴覚障害者の社会参加を図った。

5月25日（土）～26日（日）リハーサル大会 会場 調布市他

10月12日（土）～14日（月）本大会 会場 調布市他

各会場に情報支援リーダーとボランティアを配置し、開会式や閉会式等でも情報支援を行った。

※活動内容及びデータは東京都聴覚障害者連盟年次報告書「参考資料」に掲載

## （5）聴覚障害者に関する社会啓発及び普及宣伝事業

### イ、第43回耳の日記念文化祭（公益2）

3月3日は「耳の日」であり、この日を記念し、聴覚障害者問題を社会に理解を求める啓発と聴覚障害者の文化的発展を目指し、記念講演、福祉機器や加盟・関係団体活動状況の展示等を、全都的聴覚障害者関係団体の協力を得て開催した。

実施日 2014年3月1日（土）～3月2日（日）

会場 東京都障害者福祉会館、港区立港勤労福祉会館、  
港区立男女平等参画センター「リーブラ」

参加者 述べ3,012名

恒例の占いコーナーや東京消防庁の協力による地震体験シミュレーターなどが好評だった。

企画は3月1日（土）記念講演「2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて」河合純一氏。お笑いライブ笑顔工場 メイミ&カルア啓子の公演を楽しんだ。3月2日（日）「全国手話研修センターについて」早瀬憲太郎氏・記念講演「わたしと陸上」NHK手話キャスター板鼻英二氏、防災講演「NHK解説～自然災害・防災」NHK解説委員山崎登氏、他にも各種相談、展示、バザー、模擬店等が行われた。

### ロ、インターネットサーバー設置によるネットワーク構築（公益2）

固定IPアドレスと独自ドメイン取得と、独自のサーバーにより、HP（ホームページ）、ML（メーリングリスト）、MM（メールマガジン）で幅広い情報提供を行った。災害に備えてサーバーを別所にレンタルで設置し、安定性を高めるとともに、ホームページなども充実した。

インターネットホームページ <http://www.deaf.to>

（1）Eメールアドレス

傘下団体公式アドレス配布

- (2) ホームページ  
傘下団体ホームページの提供、開設サポート
- (3) ML (メーリングリスト)  
会員、役員、委員会のMLを必要に応じて作成
- (4) MM (メールマガジン)  
区市協会宛に事務連絡などの情報を発信

## (6) 手話の普及・啓発・指導及び手話通訳者等の養成・派遣事業

### イ、参政権にかかわる手話通訳の派遣 (収益)

東京手話通訳等派遣センターの派遣、斡旋対象外である選挙に関わる手話通訳や行政、企業が必要とする手話通訳を本連盟賛助会員等の協力を得て派遣・斡旋した。

政治関係	10件		
行政関係	4件		
個人	2件	計	16件

### ロ、外部手話講習会講師派遣 (収益)

手話が社会に広まるにつれて、警察関係や企業、大学、専門学校等で手話講座や講習会が開催されるようになったので、聴覚障害者と通訳 (助手) のペアで、職員を中心に派遣した。

詳細は別表 (6) 参照

### ハ、全国手話通訳統一試験 (その他)

全国手話研修センター主催「手話通訳者全国統一試験」が、東京都において毎年12月第一土曜日に実施されている。

東京都レベルとして「東京都手話通訳等派遣センター認定手話通訳者」があるため「手話通訳者全国統一試験」は区市レベルの登録と位置づけ、東京の手話通訳認定制度をより充実させるために、受験者向け、試験委員向け、講師向けの各種学習会等を開催した。

統一試験導入地域 (東京)

足立区、八王子市、日野市、昭島市、多摩市、葛飾区、西東京市 以上7区市  
手話通訳者全国統一試験実施日および状況

試験実施日 12月7日 (土)

試験会場 かつしかシンフォニーヒルズ (葛飾区)

受験状況 東京 88名受験 17名合格 (合格率 19.32%)

(全国受験者 1554名、合格者 277名、合格率 17.82%)

受験者が88名あり一つの部屋で実施するのには限界であり、将来的な試験会場の2ブロック化を考慮し、一会場2部屋実施を検討する。

### 二、手話啓発普及事業 (公益2)

I. 上級手話講習会 2013年4月～2014年3月

A) 手話でのコミュニケーション能力をつけるクラス (手話学習歴2年以上程度)

- ①堀場クラス 受講生17名 第2、4木曜10時～12時 (多摩)
- ②唯藤クラス 受講生32名 第1、3金曜10時～12時 (自立)
- ③印南クラス 受講生12名 第1、2金曜19時～21時 (自立)

- B) 手話の幅を広げ、知識を高めるクラス（手話学習歴3年以上程度）  
 ④倉方クラス 受講生33名 第2、4水曜10時～12時（自立）  
 ⑤當クラス 受講生15名 第2、4火曜19時～21時（自立）  
 C) ろう者の表現を読み取り、理解力を伸ばすクラス（手話学習歴3年以上程度）  
 ⑥鈴木クラス 受講生16名 第2、4金曜18時45分～20時45分（多摩）

## II. 素晴らしい手話の世界への招待 前期（2013年4月～9月）

- ①小藪江クラス 木曜13時30分～15時30分 受講生18名（自立）  
 ②佐藤クラス 火曜10時～12時 受講生22名（自立）  
 ③アトムクラス 月曜13時～15時 受講生15名（自立）  
 ④庄崎クラス 水曜13時30分～15時30分 受講生22名（自立）  
 ⑤井崎クラス 木曜18時30分～20時30分 受講生14名（自立）  
 ⑥ろう者ゲストクラス 金曜13時30分～15時30分 受講生20名（自立）

## III. 素晴らしい手話の世界への招待 後期（2013年10月～2014年3月）

- ①小藪江クラス 木曜13時30分～15時30分 受講生14名（自立）  
 ②佐藤クラス 火曜10時～12時 受講生18名（自立）  
 ③アトムクラス 月曜13時～15時 受講生13名（自立）  
 ④庄崎クラス 水曜13時30分～15時30分 受講生16名（自立）  
 ⑤ろう者ゲストクラス 金曜13時30分～15時30分 受講生13名（自立）

会場（自立）＝自立支援センター  
 （多摩）＝多摩障害者スポーツセンター  
 （日野）＝日野市中央福祉センター

## (7) 機関紙などの出版物の刊行及び情報・資料の頒布事業

### イ、東京都聴覚障害新聞の発行（公益2）

聴覚障害者と関係者に対する情報の提供及び理解啓発を目的として発行。  
 福祉関係施設、関係団体等にも配布した。

A4版16ページ～20ページを毎月1回5日に2700部発行した。  
 （通算551号～562号）

内 容（トップ面の大見出し・最終頁シリーズ）

4月号 盛り上がった皆の祭典！ 第42回耳の日記念文化祭  
 （区市協会旗の紹介） 北区

5月号 さあ、新年度だ！心を新たに！2013年度評議員会・総会スタート 議  
 事すべて承認される  
 （区市協会旗の紹介） 青梅市

6月号 虐待防止法のその後は？障害者総合支援法とは？東京都の手話通訳派遣復  
 帰なるか？ 課題対策会議・区市会長会議で熱心な討論  
 （区市協会旗の紹介） 豊島区

7月号 歴史に残る評議員会 公益社団法人へ前進 公益法人役員決まる  
 （区市協会旗の紹介） 三鷹市

8月号 意志融通支援事業（旧・コミュニケーション支援事業）はどう変わる？東  
 京都福祉保健局との懇談会で要望続出  
 （区市協会旗の紹介） 板橋区

9月号 ソフィア・デフリンピック2013 日本代表選手団過去最高の21個のメダル獲得!

(区市協会旗の紹介) 武蔵野市

10月号 厳しい残暑でもいつまでもお元気で「第29回敬老の日のつどい」120名集う

(区市協会旗の紹介) 江戸川区

11月号 スポーツ祭東京2013華やかに開催! 当連盟も情報保障ボランティアで協力

(区市協会旗の紹介) 調布市

12月号 公益社団法人がついに認定! 11月15日に東京都から「認定書」授与  
(区市協会旗の紹介) 荒川区

1月号 新年の挨拶 会長 宮本一郎

(区市協会旗の紹介) 福生市

2月号 数年越しの要求がついに実現! 東京都の意思融通支援事業予算が計上される 都次年度暫定予算案公開

(区市協会旗の紹介) 品川区

3月号 豊島区議会で手話言語法を求める意見書を採決 各区市でも意見書請願の取り組みを始めよう!

(区市協会旗の紹介) 葛飾区

## (8) 聴覚障害者の防災及び災害時の支援・情報提供事業

### イ、災害対策会議 (その他)

災害対策会議②

実施日 11月30日(土)

会場 稲城市i(アイ)プラザ

参加者 53名

課題対策会議と同時開催して、都との交渉経過報告、豪雨・雷・竜巻対策の気象庁DVD上映及び情報提供、各区市からの情報交換を行なった。

### ロ、第7回災害対策学習会 (その他)

実施日 2014年1月26日(日) 午後2時~4時35分

会場 地域交流センター新橋地下ホール(参加者63名)

14時~15時 気象庁出前講座

15時~16時 区市取り組み報告

気象庁の出前講座は、気象庁地震火山部 地震津波防災対策室長 荒谷博氏を講師に迎え、CGを取り入れた大変わかりやすい講演内容で、大変参考になったという声があった。

区市協会の災害取組状況報告では、協会の災害対策取組としての役割を、①一般会員への啓発、②行政との交渉、③協会のシステム確立の3つに大きく分けて、それぞれのテーマで、3地域(昭島市、豊島区、墨田区)に発表して頂いた。大変参考になったという声、多数あり。次回も続けたい。

公的派遣、区市登録通訳者派遣、ボランティア派遣の順で考えてマニュアルを修正したのを配布したうえで、このマニュアルを地域の防災担当者との話し合い時に参考にしてもらうよう呼びかけた。また、災害関連備品展示ブースも設け、地域でマニュアル未策定のところに活用を促すことができた。

## (9) その他目的達成のために必要と認められる事業

### イ、自立支援センター運営のために必要な事業(公益2、収益)

#### ① 「手話で語る戦時体験2013」(公益2)

実施日 8月5日(月) ※解散報告に掲載漏れ

会場 港区赤坂区民センターホール

高齢者の方々とのトーク… 語り部 大西維倫氏 鈴木義夫氏 山本康彦氏  
手話語り…米内山明宏氏他

昼の部：14時～16時30分 来場者数256名(274枚)

夜の部：18時30分～21時 来場者数176名(254枚)

#### ② 手話で語る戦時体験DVD制作(収益)

自立支援センター資金支援のために「手話で語る戦時体験」DVD制作委員会を設置し、2005年度版、2006年度版のDVDの企画・制作・販売を進めた。

売上通算

・2005年度版(DVD1)	483枚
・2006年度版(DVD2)	283枚
・2007年度版(DVD3)	98枚
・2010年度版(DVD4)	17枚

#### ③ 特別講演(公益2) ※解散報告に掲載漏れ

第2弾「生い立ちとろう学校教員の経験談」戸田康之氏

2013年11月23日(土) 14時～16時15分 参加者180名

## (補足) 定期評議員会・社員総会

### ◎2013年度社員総会・理事会

第1回理事会、社員総会

2014年1月26日(日) 会場 渋谷区地域交流センター新橋

議題 解散事業報告・決算、移行後事業計画・予算案

理事会及び総会において全議題が全員一致で承認された。

第2回 理事会、社員総会

2014年3月16日(日)

会場 理事会：東京聴覚障害者自立支援センター

社員総会：渋谷区リフレッシュ氷川

議題 事業計画・予算案 等

理事会及び総会において全議題が全員一致で承認された。